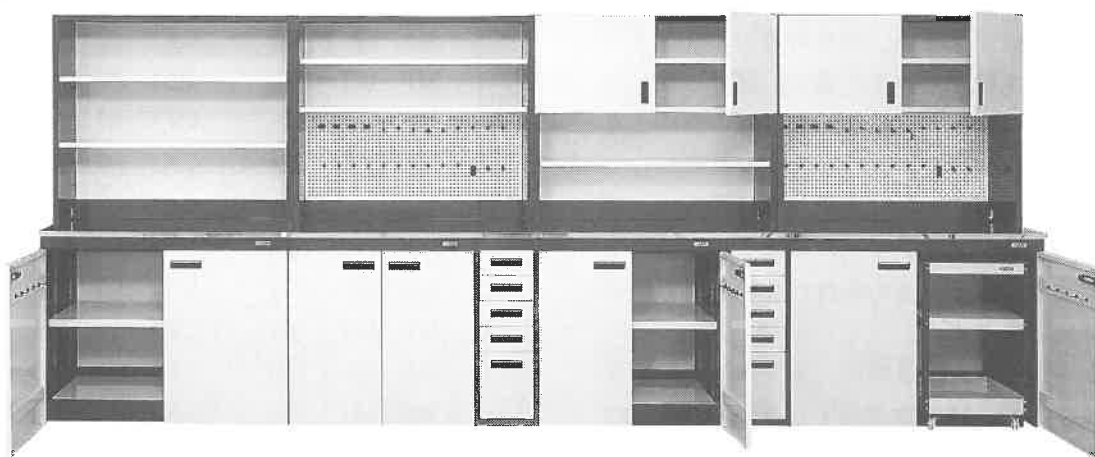


# ピットイン [PN] ワーキングユニット [WK]

## 取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださりましてありがとうございます。  
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。  
組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。  
また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。  
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、  
下記のお客様相談室までご連絡ください。



# S サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室 フリーダイヤル  0120-575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

## △ 安全上のご注意

1. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
2. 使用中にネジやパーツのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直し、はめ直しをして下さい。ゆるんだままで使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
3. 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
4. 引出しはゆっくりと引いて下さい。引出しを強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜ける恐れがあります。【引出し付】
5. 引出しを引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。【引出し付】
6. 転倒防止のため、重い物は下段に入れて置いて下さい。また、引出し付のものは、同時に二つ以上引出さないで下さい。
7. 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
8. 扉を開けたまま上から強く押さえたり、ぶらさがったりしないで下さい。事故の原因となります。(使用後は必ず扉を閉めて下さい。開けっ放しですと扉の接触による、事故や扉の破損の原因となります。)
9. 本体と上部架台の背面に背板がない場合は、棚板にコボレ止め(オプション)を取付ける様におすすめします。コボレ止めを付けないと積載物の落下の原因となります。
10. ワゴンを出し入れする際に、カンヌキの凸を乗り越えますので、積載物が落下しない様に充分注意して下さい。【ピットインワゴン】  
※ワゴンの棚板取付け方向は、全て皿型(四方共、落下しない様に縁が付いている方向)に取付けることをおすすめします。
11. この製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。【アジャスター付】
12. 本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで調整し水平の状態で使用して下さい。【アジャスター付】
13. パンチングパネルフックに工具を掛けるときは、ゆっくりと掛けて下さい。フック固定部が樹脂製

のため、強く掛けますと破損する恐れがあります。

【オプション】

14. コンセントの容量は1200ワットです。必ず容量の範囲内でご使用下さい。【オプション】
15. 移設やレイアウト変更等は安全の為、最寄りの購入店へご相談下さい。お客様で作業される場合は、組立て方に基づいて上部架台の各パーツをはずして、本体を移設場所に設置したのち、再度上部架台を組立てして下さい。【上部架台付】
16. 天板の等分布耐荷重(天板全面に均等に物を置いた場合)は300kg

棚板の等分布耐荷重(棚板全面に均等に物を置いた場合)は

80kg/段

【棚板付】

PN-5KB引出しの等分布耐荷重(引出し全面に均等に物を置いた場合)

45kg/段

【引出し付】

上部引出し付本体の引出し等分布耐荷重(引出し全面に均等に物を置いた場合)

60kg/段

各オプションパーツの許容荷重は、

MF-11	2kg	CKF-01	1kg
MF-11L	2kg	CKF-02	1kg
MF-12	2kg	CKF-03	1kg
MF-12L	2kg	CKF-04	1kg
MF-13	2kg	CKF-05	1kg
MF-13L	2kg	CKF-06	1kg
MF-14	2kg	CKF-07	0.5kg
MF-14L	2kg	CKF-08	0.5kg
MF-15	2kg	CKF-09	1kg
MF-15L	2kg	CKF-10	2kg
MF-16	2kg	CKF-11	2kg
MF-16L	2kg	CKF-12	2kg
MF-17	4kg	CKF-13	2kg
MF-17S	4kg		
MF-18	4kg		
MF-19	1kg		
MF-20	5kg		
MF-24	2kg		
MF-24L	2kg		

積載荷重は、天板の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りすると製品破損の恐れがあります。

17. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を充分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

## ◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 特に自動車整備工場でご使用の際、ブレーキ油等が塗装面に振り掛かったまま放置されますと、腐食や劣化を早めますので、ブレーキ油等が振り掛かった際には、速やかに拭き取って下さい。
6. この製品の鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品等は保管しないで下さい。【鍵付】
7. 鍵を掛けるときは、全ての引出しを確実に閉めて下さい。閉まっていないと鍵は掛かりません。【鍵付】
8. 製品をご使用になる前に鍵番号等は控えて下さい。【鍵付】
9. 鍵を紛失した場合は、鍵番号を確認して、購入先を通じてご注文下さい。（有料となります。）【鍵付】
10. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
11. キャスターやアジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
12. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
13. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。
14. 耐油性、耐薬品性に問題がある場合がありますので、あらかじめ購入店へご相談下さい。

## ◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

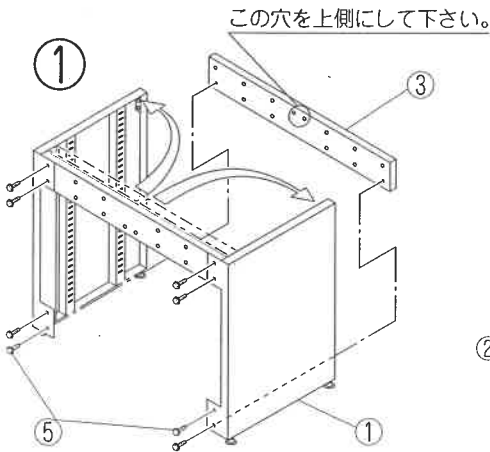
※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。

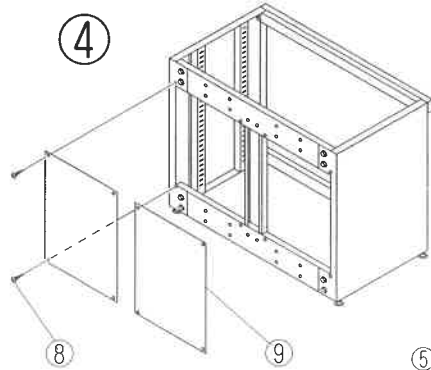
<W900> PN-F92タイプ  
<W600> PH-F62タイプ

※各サイズとも基本的に組立方法は同一です。

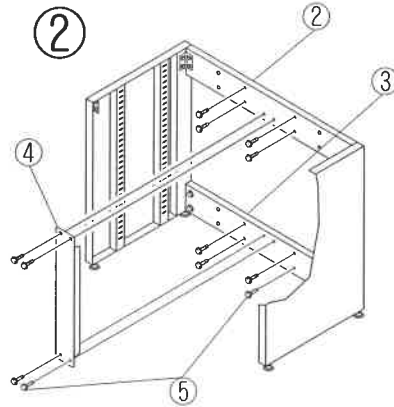
●組立て方法



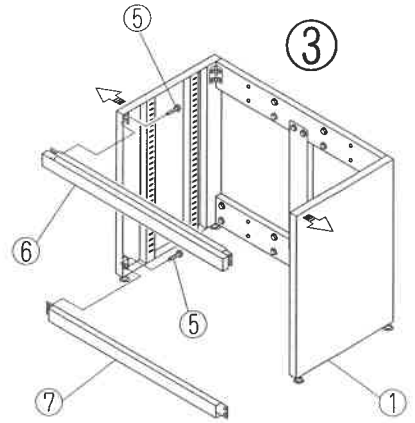
①側板①を開き、後ビーム下③の平面部を前側にしてセットし、背面8ヶ所を六角アプセットセムス(M8×15ℓ)⑤で仮止めし、本体②の幅をW900、W1200にそれぞれ合わせて下さい。



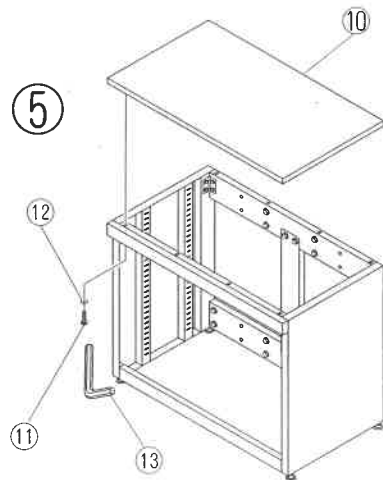
④背板⑨をトラスタッピンビス(M4×8ℓ)⑧で仮止めして下さい。



②後ビーム上下②③の前面8ヶ所を、六角アプセットセムス(M8×15ℓ)⑤で仮止めして下さい。また、W1200タイプのみ、後柱④を4ヶ所六角アプセットセムス(M8×15ℓ)⑤で仮止めして下さい。



③前ビーム⑥を側板①を広げながら差し込む様にしてセットし、六角アプセットセムス(M6×15ℓ)⑤で4ヶ所仮止めして下さい。前カンヌキ⑦も同じ様にセットし、六角アプセットセムス(M6×15ℓ)⑤で4ヶ所仮止めして下さい。

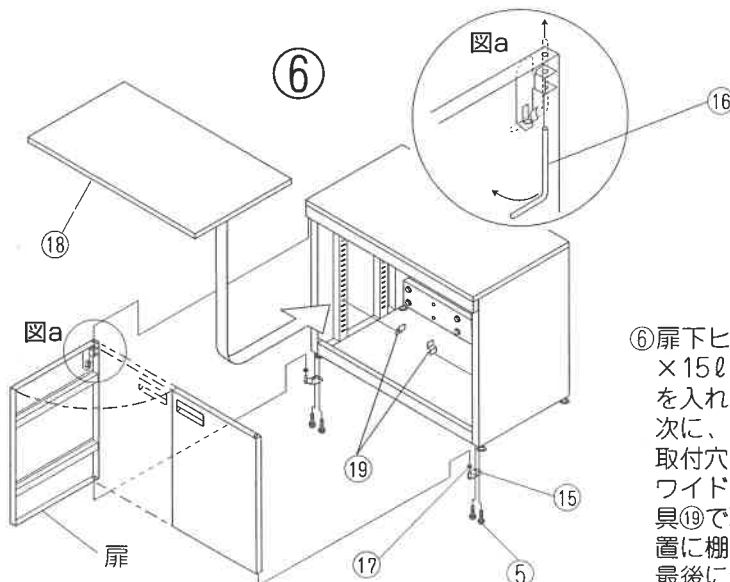


⑤天板⑩を本体にのせ、W900の時4ヶ所、W1200の時6ヶ所を六角穴付ボルト(M6×15ℓ)⑪、平座金(M6)⑫で付属の六角レンチ⑬にて前ビーム⑥、後ビーム②③の下から仮止めして下さい。

●部品明細 (PN-F92・PN-L92タイプ)

番号	品名	数量
1	側板	1
2	後ビーム上	1
3	後ビーム下	1
4	後柱(W1200のみ)	1
5	本体枠固定用六角アプセットセムス(M8×15ℓ)	16
6	前ビーム	1
7	前カンヌキ	1
8	トラスタッピンビス(M4×8ℓ)	12
9	背板(W900)	2(1)
10	天板	1
11	天板取付用六角穴付ボルト(M6×15ℓ)	6
12	天板取付用平座金(M6)	6
13	六角レンチ	1
14	扉下ヒンジ板(R/L)	各1
15	ヒンジピン	1
16	樹脂ワッシャ	2
17	ワイドラック(棚受)	1(2)
18	棚受け金具	2(4)
19	本体	1
20	天井板	1
21	上部側板(R/L)	2
22	架台カンヌキ	1
23	上背板	1
24	トラス小ネジ(M4×10ℓ)	8
25	トラスタッピンネジ(M4×10ℓ)	12
26	六角ボルト(M6×50ℓ)	4
27	平座金(M6用)	8

※部品共通化の為、ビス・ナット等が余る場合があります。

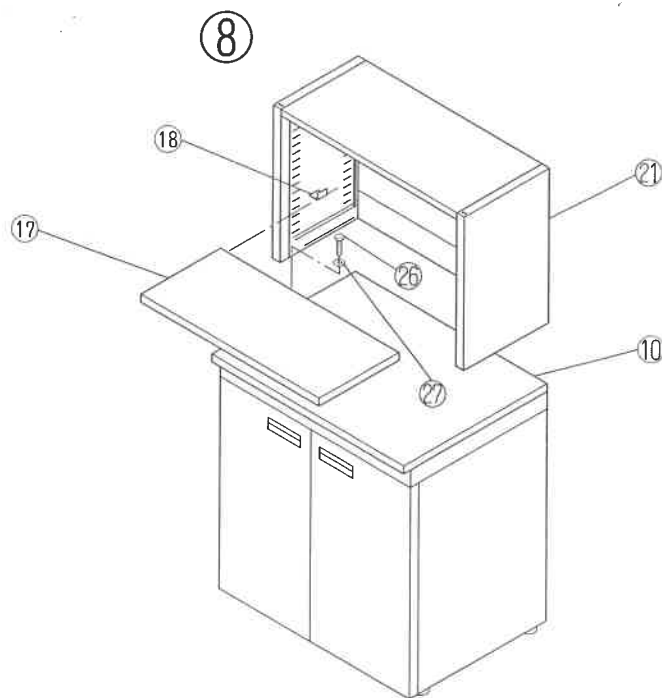
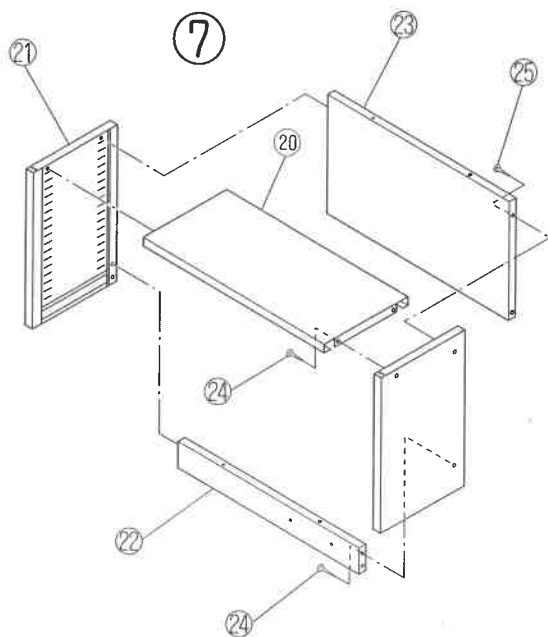


⑥扉下ヒンジ板⑭を側板①の底面に、六角アプセットセムス(M5×15ℓ)⑤4本で取付け、扉下ヒンジ板⑭のピンに樹脂ワッシャ⑰を入れ、扉の下の穴を差し込みのせて下さい。次に、ヒンジピン⑱を図②の様に扉上部の金具の穴を通し、本体の取付穴へ差し込み、ヒンジピンを扉の固定位置にセットして下さい。ワイドラック(棚板)⑱は、前カンヌキ⑦と面一になる様に棚受け金具⑲で取付けて下さい。残りのワイドラック(棚板)⑱は、任意の位置に棚受け金具⑲で取付けて下さい。最後に全てのボルトをはずれない様、しっかり本締めして下さい。

## <W900> PN-L92タイプ

※各サイズとも基本的に組立方法は同一です。

### ●組立て方法



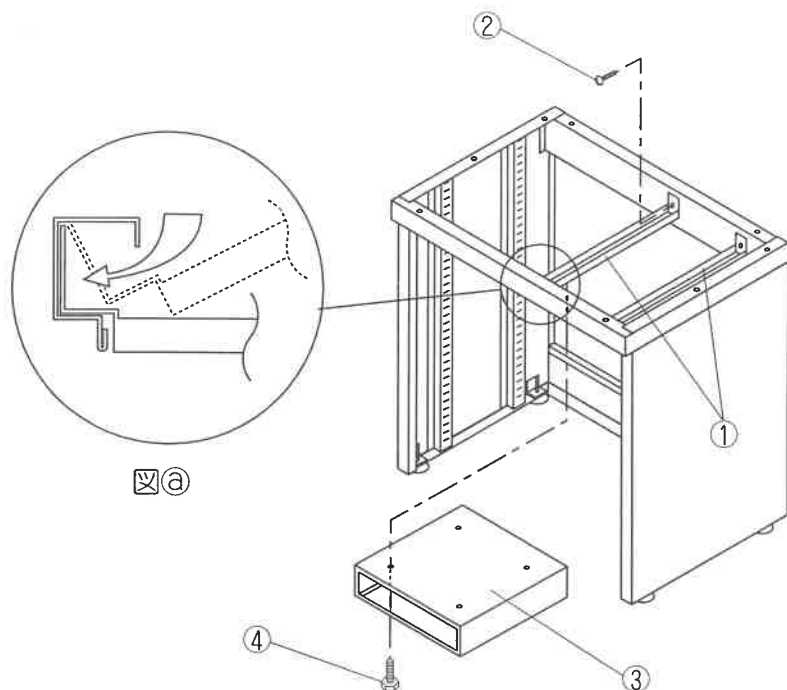
①～⑥は、PN-F92・PH-F62タイプと同じ。

⑦左右の上部側板②①と天井板②①をトラス小ネジ②④で仮止めして下さい。次に、架台カンヌキ②②を上部側板のうしろ下部に、トラス小ネジ②④で仮止めして下さい。さらに上背板②③を上部側板②①、天井板②①、架台カンヌキ②②にトラスタッピンネジ②⑤で仮止めして下さい。そののち、仮止め部分を全てはずれないように本締めして下さい。

⑧架台部分が組み上がったら、本体の上に乗せ、上部側板②①と天板②⑩の穴を合わせ、本体に六角ボルト②⑥、平座金②⑦でまず仮止めし、そののち、はずれないように本締めして取り付けて下さい。そして、架台の任意の位置に棚受け金具②⑧を取り付け、メインラック②⑦をセットして下さい。

最後に、予定の場所に本体を設置したのち、水平器を用いて高低差を確認して、もし不揃いがあるときは、アジャスターを操作して調整して下さい。

### <キャビネットを取り付ける場合>



### ●組立て方法

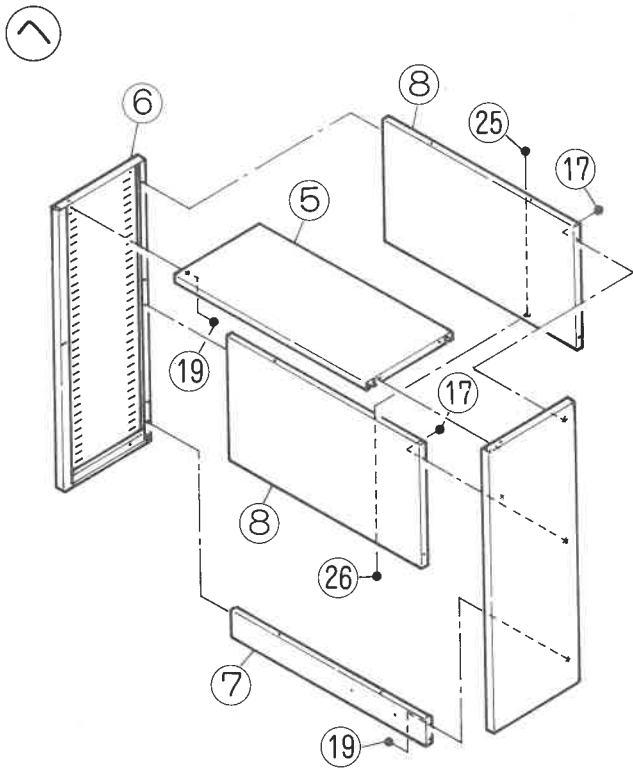
前ビームの内側に、キャビネット取付板①を図②のように後部から差し込み、後カンヌキの穴に合わせてトラス小ネジ②で固定して下さい。キャビネット③の引出しを抜き、キャビネット取付板①の穴に合わせて六角ボルト④で固定して下さい。

### ●部品明細

番号	品名	数量
1	キャビネット取付板	2
2	トラス小ネジ (M8×15ℓ)	2
3	キャビネット	1
4	六角ボルト (M8×20ℓ)	4

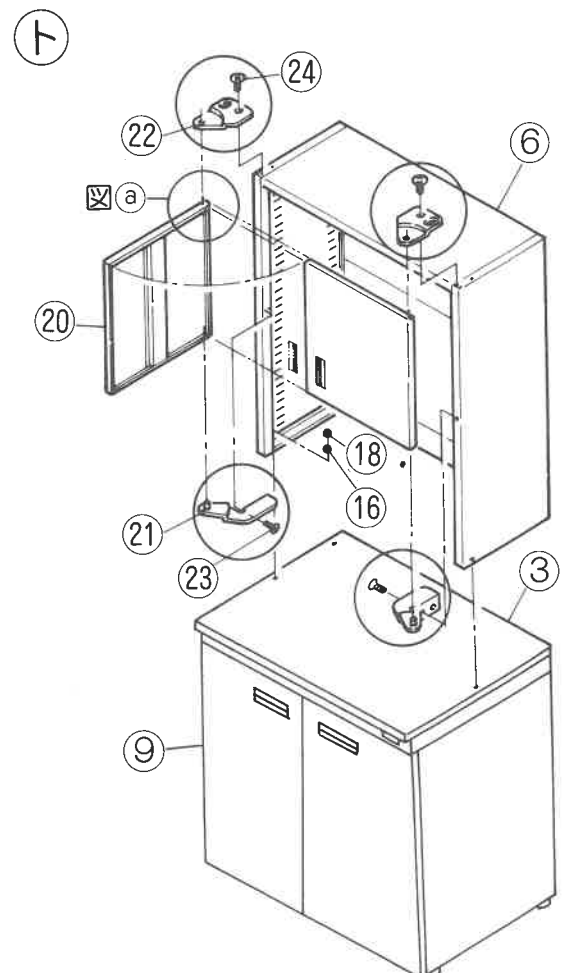
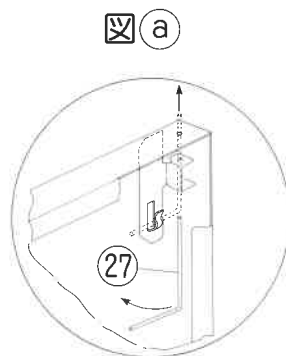
●組立方法

本体の組立方法は、3ページのPN-F92タイプの  
①～⑩と同じです。

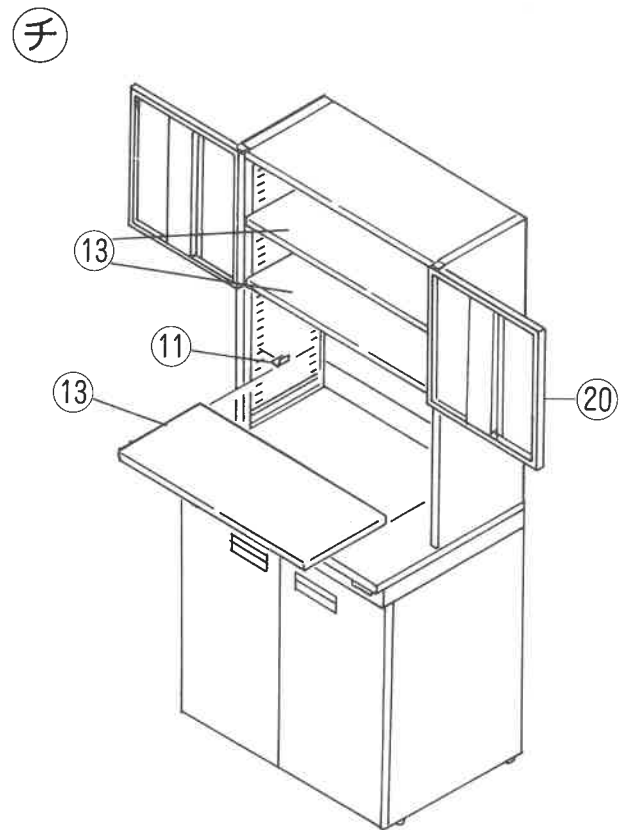


- ④ 左右の上部側板⑥と天井板⑤をトラス小ネジ⑱で仮止めし、次に架台カンヌキ⑦を上部側板⑥の後下部に、トラス小ネジ⑱で仮止めして下さい。さらに、上背板⑧を上下、トラスタッピンネジ⑰で上部側板、天井板、架台カンヌキに仮止めし、上背板どうしの合わせ面の穴にトラス小ネジ⑳、六角ナット㉑で仮止めし、その後、仮止め部を全てはずれないように本締めして下さい。

- ⑤ 上部側板⑥の中央内側の穴にヒンジ板㉑を皿小ネジ㉓で、次に上端前側の穴にヒンジ板㉒をナベ小ネジ㉔で、それぞれはずれないように取り付けて下さい。そののち、天扉㉒の下の穴をヒンジ板㉑のピンに差し込み、次いでヒンジピン㉗を図㉔の様に扉上部の金具の穴を通し、本体の取付穴へ差し込み、ヒンジピン㉗を扉の固定位置にセットして下さい。



- ④ 架台用のメインラック⑬を天扉⑳の底板になる様、棚受け金具⑪でセットした後、扉内の任意の位置にセットして下さい。
- 架台の下部も同様に、任意の位置にセットして下さい。そして、全ての組立てを終えたら予定の場所に本体を設置し、水平器を用いてアジャスターにて調整して下さい。

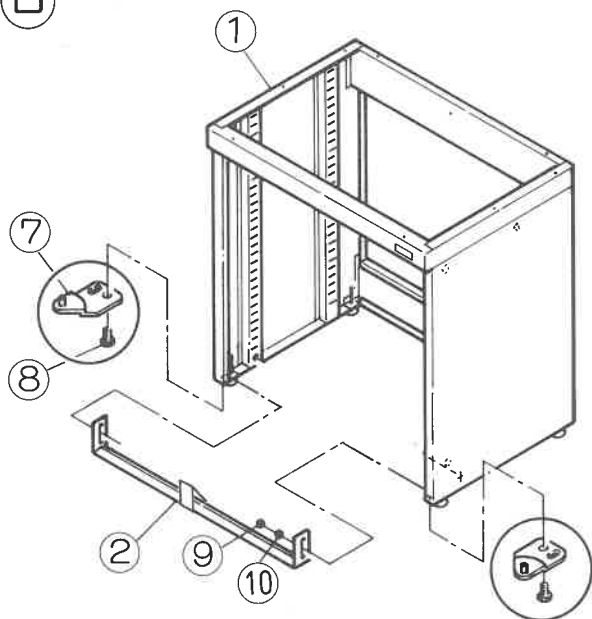


### ● 部品明細

番号	品名	数量	番号	品名	数量
1	本 体	1	15	六角穴付きボルト (M6×150)	6
2	前 カンヌキ	1	16	平 座 金 (M6用)	8
3	天 板	1	17	トラスタッピンネジ (M4×100)	12
4	下 背 板	1	18	六 角 ボ ル ト (M6×500)	4
5	天 井 板	1	19	トラス小ネジ (M6×160)	8
6	上 部 側 板 (R/L)	2	20	天 扉 (R/L)	1組
7	架台カンヌキ	1	21	ヒンジ板 (1) (R/L)	2
8	上 背 板	2	22	ヒンジ板 (2) (R/L)	2
9	扉 (下扉) (R/L)	1組	23	皿 小 ネ ジ (M4×100)	4
10	下ヒンジ板 (R/L)	2	24	ナベ小ネジ (M5×100)	4
11	棚受け金具	20	25	トラス小ネジ (M4×100)	3
12	ワイドラック	2	26	六 角 ナ ッ ト (M4用)	3
13	メインラック	3	27	ヒンジピン	4
14	六角ボルト (M5×150、平W・SW付)	4			

※部品共通化の為、ビス・ナット等が余る場合があります。

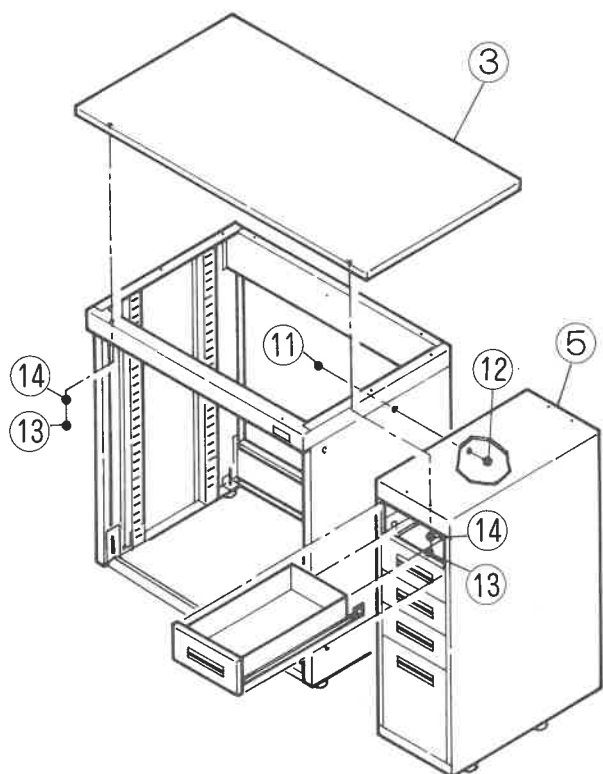
イ ㊦



●組立て方法

- イ 本体①を後方へ傾けて、本体側板前側の穴に下から下ヒンジ板⑦を合わせ、六角ボルト⑧ではずれないように取り付けて下さい。
- ㊦ Vカンヌキ②を、本体側板の前面の最下部にある穴に、六角ボルト⑨、平座金⑩で、はずれないように取り付けて下さい。

ハ 二

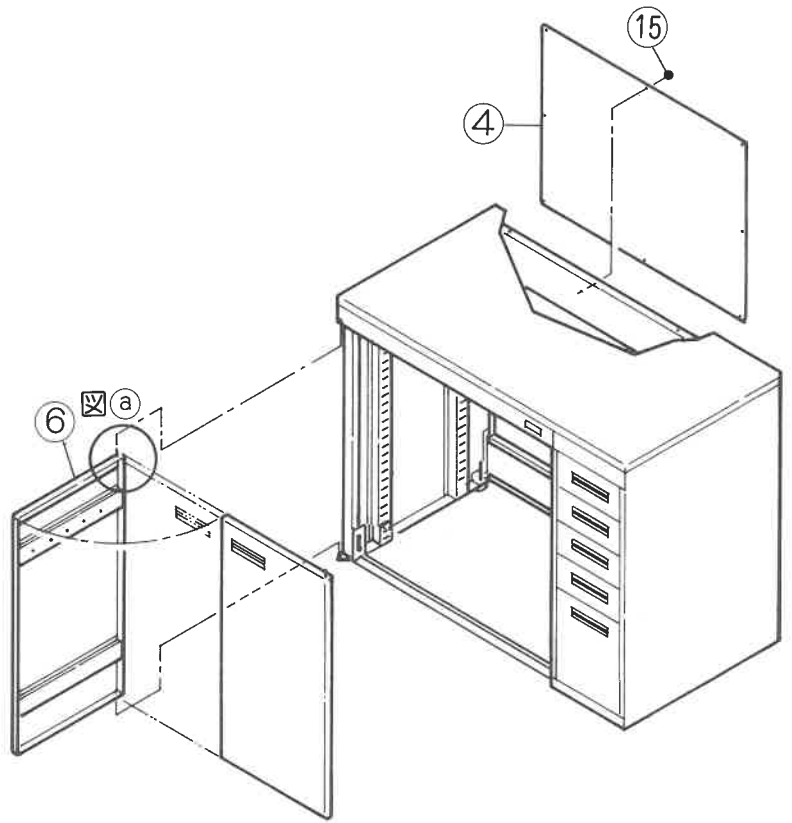


- ハ ① キャビネット⑤を本体の左右どちら側に置くかを決めたのち、キャビネットの引出しを抜き、取り付ける側の本体側板とキャビネット側板の3ヶ所のハーフピースを、ドライバーなどを用いてハンマーや木槌などで軽くたたいて打ち抜いて下さい。そののち、キャビネットを本体と並べて置いて、本体とキャビネットの側板の穴を合わせて、トラス小ネジ⑪、フランジナット⑫で仮止めして連結して下さい。
- 二 本体とキャビネットの上に天板③を載せ、穴を合わせて、六角穴付きボルト⑬、平座金⑭で仮止めして下さい。そののち、仮止め部分を全てはずれないように本締めして下さい。

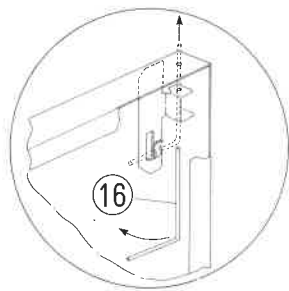


ホ へ

- ホ 背板④を本体のうしろ側に、トラスタッピンネジ⑮でまず仮止めし、そののち、はずれないように本締めして下さい。
- へ 最後に扉⑥を取り付けますが、まず扉の下の穴を、下ヒンジ板⑦のピンに差し込み、次いでヒンジピン⑯を図⑩の様に扉上部の金具の穴を通し、本体の取付穴へ差し込み、ヒンジピン⑯を扉の固定位置にセットして下さい。
- 同様にして、もう一方の扉もはずれないように取り付けて下さい。そして全ての組立てを終えたら、予定の場所に本体を設置し、そののち、水平器を用いて高低差を確認して下さい。もし不揃いがあるときには、アジャスターを操作して調整して下さい。



図⑩ a



## 〈W1200〉PN-F21タイプ

### ● 組立て方法

- ①～④、⑥～⑧は、7～8ページのPN-F23タイプと同じ。
- ⑨は不要。

### ● 部品明細

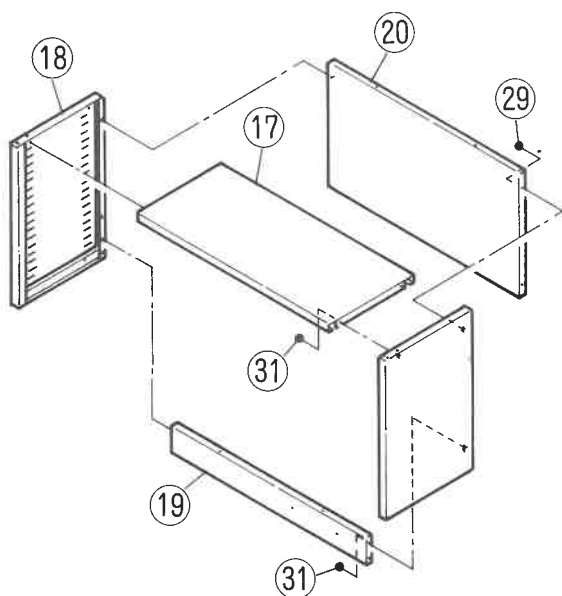
番号	品名	数量	
		F23	F21
1	本体	1	1
2	Vカンヌキ	1	1
3	天板(フラットタイプ)	1	1
4	背板	1	2
5	キャビネット	1	—
6	扉(R/L)	1組	1組
7	下ヒンジ板(R/L)	2	2
8	六角ボルト(M5×10ℓ)	4	4
9	六角ボルト(M8×20ℓ)	2	2
10	平座金(M8用)	2	2
11	トラス小ネジ(M6×15ℓ)	3	—
12	フランジナット(M6用)	3	—
13	六角穴付きボルト(M6×15ℓ)	6	6
14	平座金(M6用)	6	6
15	トラスタッピンネジ(M4×10ℓ)	12	12
16	ヒンジピン	2	2

※部品共通化の為、ビス・ナット等が余る場合があります。

## <W1200> PN-L21・L23タイプ (組立て図はPN-L21タイプです。)

本体の組立て方法は、7～8ページ参照(イ～へ)

ト

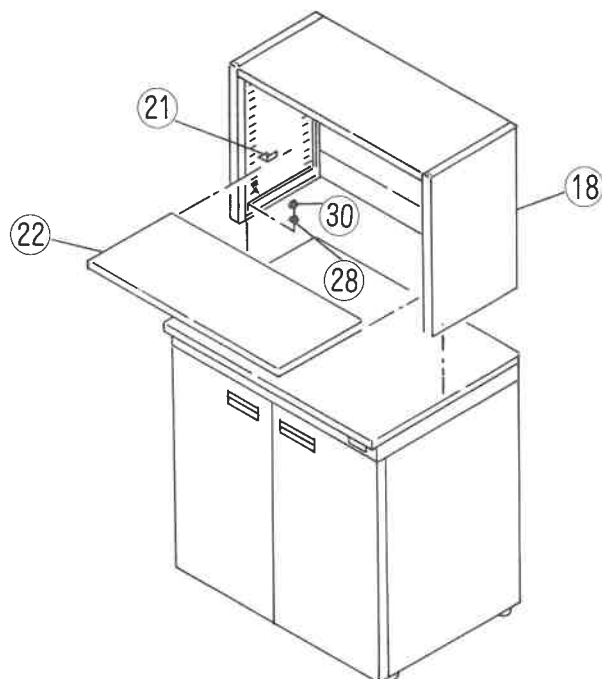


- ① 左右の上部側板⑱と天井板⑰をトラス小ネジ⑳で仮止めして下さい。次に架台カンヌキ⑲を上側板のうしろ下部に、トラス小ネジ⑳で仮止めして下さい。さらに上背板㉔を上側板⑱、天井板⑰、架台カンヌキ⑲、トラスタッピンネジ㉓で仮止めして下さい。そののち、仮止め部分を全てはずれないように本締めして下さい。

- ② 架台部分が組み上がったなら、本体の上に乗せ、上部側板⑱と天板の穴を合わせ、本体に六角ボルト、平座金㉘㉙でまず仮止めし、そののち、はずれないように本締めして取り付けて下さい。そして架台の任意の位置に棚受け金具㉑を取り付け、メインラック㉒をセットして下さい。

最後に、予定の場所に本体を設置したのち、水平器を用いて高低差を確認して、もし不揃いがあるときは、アジャスターを操作して調整して下さい。

チ



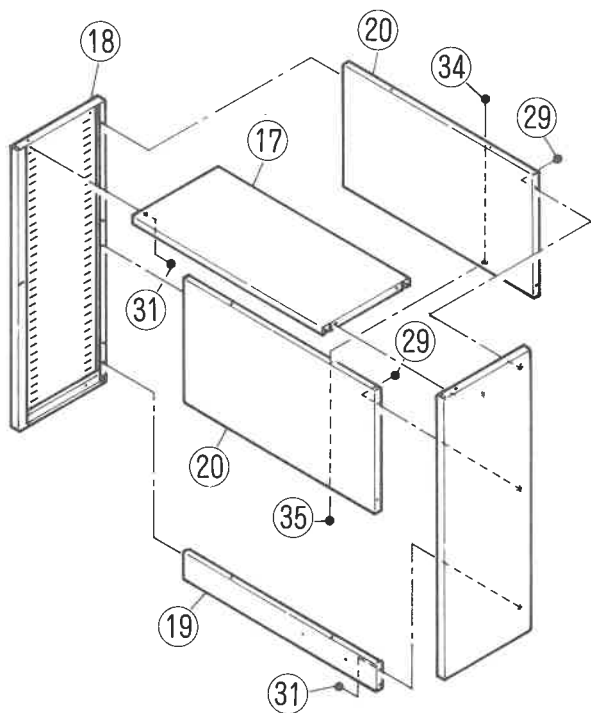
### ●部品明細 (PN-L21・L23、PL-H21D・H23Dタイプ)

番号	品名	数量	番号	品名	数量
17	天井板	1	27	六角穴付きボルト (M6×150)	4
18	上部側板 (R/L)	2	28	平座金 (M6用)	8
19	架台カンヌキ	1	29	トラスタッピンネジ (M4×100)	12
20	上背板	2	30	六角ボルト (M6×500)	4
21	棚受け金具	20	31	トラス小ネジ (M6×160)	8
22	メインラック	3	32	皿小ネジ (M4×100)	4
23	天扉 (R/L)	1組	33	ナベ小ネジ (M5×100)	4
24	ヒンジ板 (1) (R/L)	2	34	トラス小ネジ (M4×100)	3
25	ヒンジ板 (2) (R/L)	2	35	六角ナット (M4用)	3
26	六角ボルト (M5×100)	4			

<W1200> PN-H21D・H23Dタイプ (組立て図はPN-H21Dタイプです。)

本体の組立て方法は、7～8ページ参照(イ～ハ)

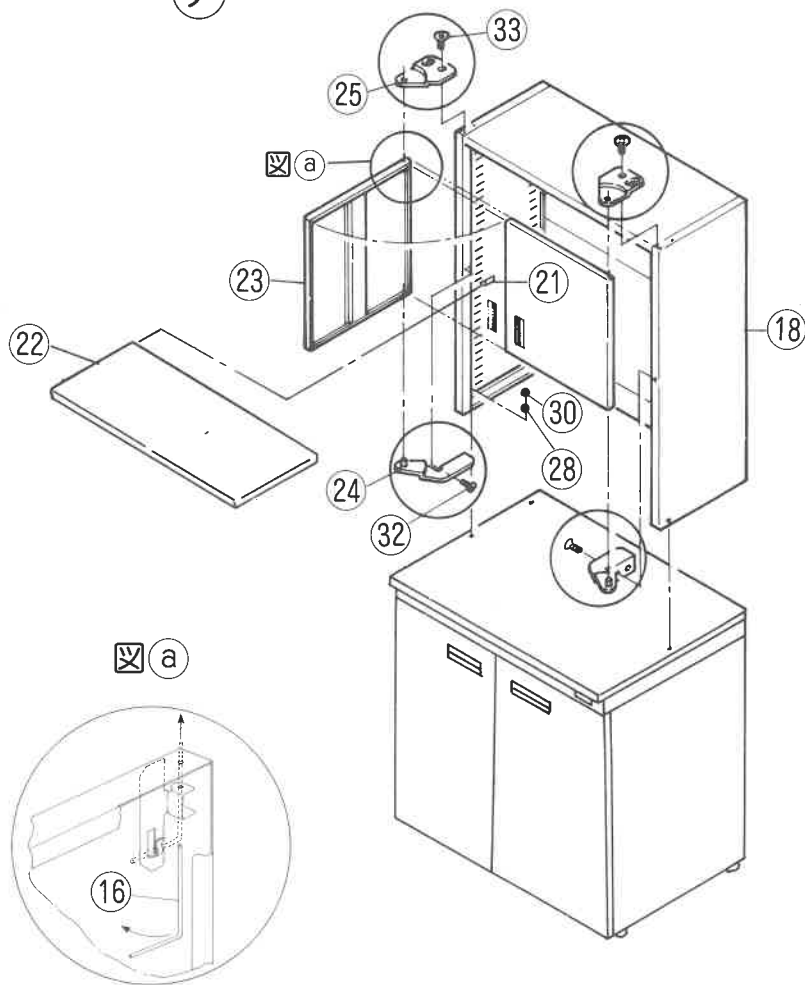
ト



ト 左右の上部側板⑱と天井板⑰をトラス小ネジ⑳で仮止めし、次に架台カンヌキ⑲を上部側板⑱の後下部にトラス小ネジ⑳で仮止めして下さい。さらに上背板㉑を上下、トラスタッピンネジ㉒で上部側板⑱、天井板⑰、架台カンヌキ⑲に仮止めし、上背板どうしの合わせ面の穴にトラス小ネジ㉓、六角ナット㉔で仮止めし、その後、仮止め部を全てはずれないように本締めして下さい。

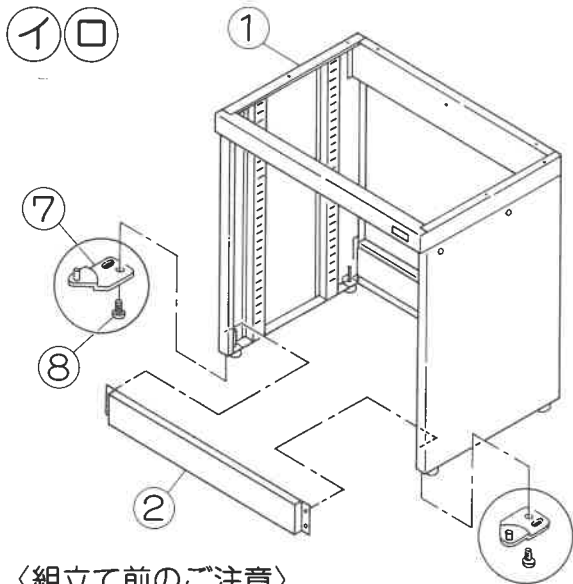
チ 上部側板⑱の中央内側の穴にヒンジ板㉔を皿小ネジ㉕で、次に上端前側の穴にヒンジ板㉖をナベ小ネジ㉗で、それぞれはずれないように取り付けて下さい。そののち、天扉㉘の下の穴をヒンジ板㉔のピンに差し込み、次いでヒンジピン⑱を図㉙の様に扉上部の金具の穴を通し、本体の取付穴へ差し込み、ヒンジピン⑱を扉の固定位置にセットして下さい。架台用のメインラック㉚を天扉㉘の底板になる様、棚受け金具㉛でセットした後、扉内の任意の位置にセットして下さい。架台の下部も同様に、任意の位置にセットして下さい。そして、全ての組立てを終えたら予定の場所に本体を設置し、水平器を用いて、アジャスターにて調整して下さい。

チ



## <W1800> PN-F84タイプ

※各サイズとも基本的に組立方法は同一です。



### ●組立て方法

- ① 本体①を後方へ傾けて、本体下部前側の穴に下から下ヒンジ板⑦を合わせ、六角ボルト⑧で両側にはずれないように取り付けて下さい。
- ② 前カンヌキ②の両端の爪を本体の前側下部に内側から差し込んで下さい。

### <組立て前のご注意>

完成後のセッティングとなりますので、あらかじめセッティング場所付近での組立てをお願いします。

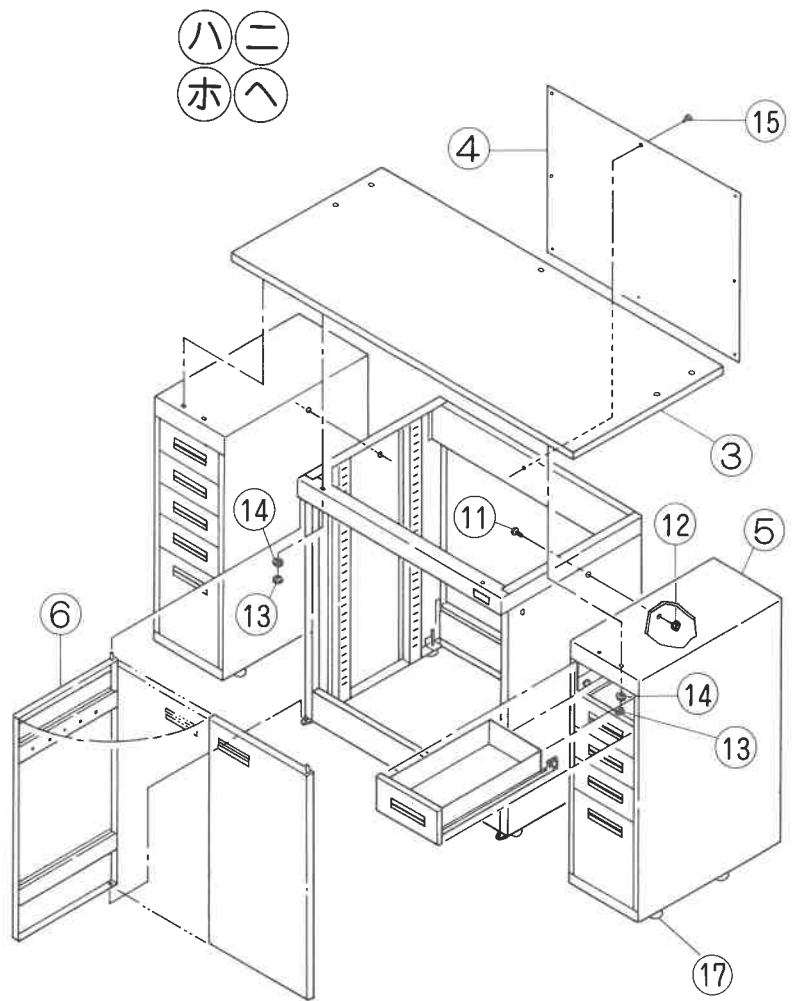
- ① キャビネット⑤の引出しを全部抜き、底部にアジャスター⑩を4ヶネジ込んで下さい。（アジャスターは引出し内部にあります）

次に、キャビネットの側板と本体の側板が接する面のロックアウトを3ヶ所ずつドライバーとハンマー、木槌などを用いて軽くたたいて打ち抜いて下さい。そして、キャビネットを本体と並べて置いて下さい。

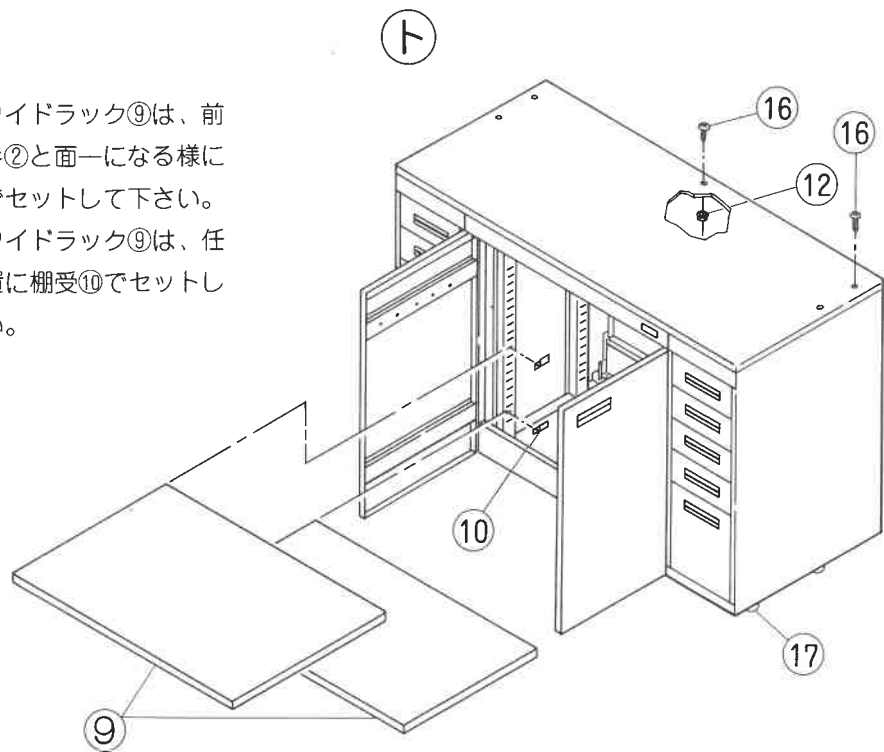
- ② 上記①であけた本体とキャビネットの側面の穴を合わせて、トラス小ネジ⑪、フランジナット⑫で仮止めして連結して下さい。次に、本体とキャビネットの上に天板③を載せ、穴を合わせて、六角穴付きボルト⑬、平座金⑭で仮止めして下さい。そののち、仮止め部分を全てはずれないように本締めして下さい。

- ③ 背板④を本体のうしろ側に、トラスタッピンネジ⑮でまず仮止めしてから、はずれないように本締めして下さい。

- ④ 最後に扉⑥を取り付けますが、まず扉の下の穴を下ヒンジ板⑦のピンに差し込み、次に上部のピンを一度はずし、本体の穴と扉の穴を合わせてから一度はずしたピンをセットして下さい。同様にして、もう一方の扉もはずれないように取り付けて下さい。そして、全ての組立てを終えたら所定の場所に本体を設置し、そののち、水平器でレベル調整をアジャスター⑩にて行なって下さい。



- ① 下段のワイドラック⑨は、前カンヌキ②と面一になる様に棚受⑩でセットして下さい。残りのワイドラック⑨は、任意の位置に棚受⑩でセットして下さい。



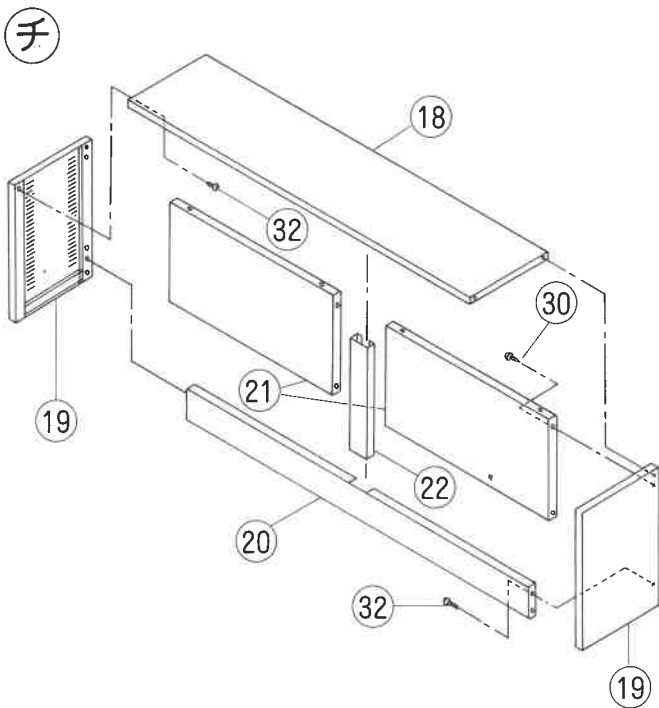
### 《フラットタイプの場合》

①～①の作業終了後、天板上面よりステンレストラス小ネジ⑩にて、はずれないように締め付けて下さい。

但し、中央後部のみフランジナット⑫を用いて取り付けて下さい。

### ●部品明細

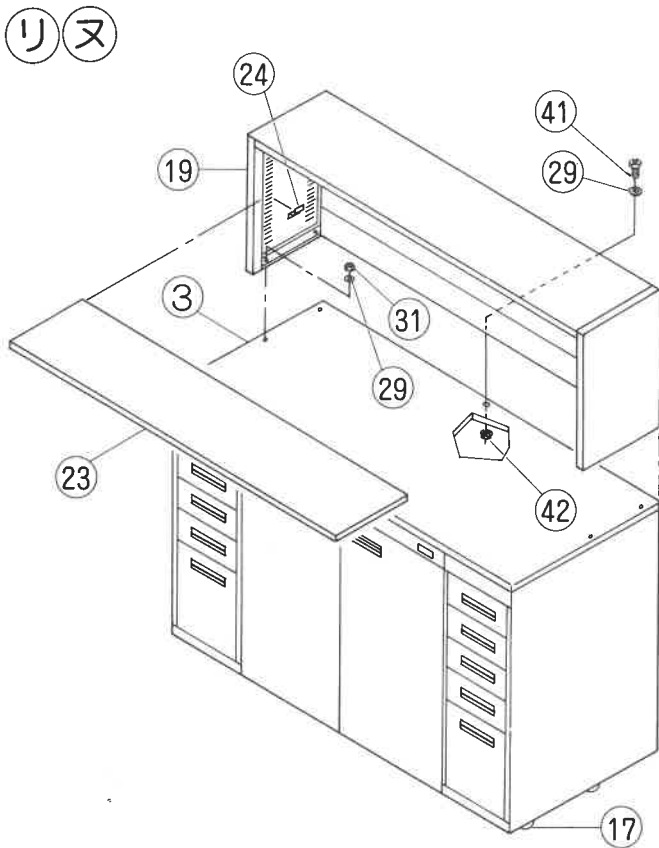
番号	品名	数量
1	本体	1
2	前カンヌキ	1
3	天板	1
4	背板	1
5	キャビネット	2
6	扉 (R/L)	1組
7	下ヒンジ板 (R/L)	2
8	六角ボルト (M5×150) (P-3)	4
9	ワイドラック	2
10	棚受け	8
11	トラス小ネジ (M6×150)	9
12	フランジナット (M6用)	9
13	六角穴付きボルト (M6×150)	6
14	平座金 (M6用)	6
15	トラスタッピンネジ (M4×100)	12
16	ステンレストラス小ネジ (M6×350)	5
17	アジャスター	12



●組立て方法

※本体の組立ては、11～12ページのイ～トをご参照下さい。

- チ 左右の上部側板⑱と天井板⑱をトラス小ネジ⑳で仮止めして下さい。次に、架台カンヌキ㉑に中間柱㉒を差し込み、天井板⑱の切込んだ部分にはめ込み、上部側板のうしろ下部にトラス小ネジ⑳で仮止めして下さい。上背板㉑を架台カンヌキの上に置き、上部側板、天井板、架台カンヌキ、中間柱にトラスタッピンネジ㉓で仮止めして下さい。その後、仮止め部分を全てはずれないように本締めして下さい。



- リ 上記チで架台部分が組み上がったなら、本体の上に載せ、上部側板⑱と天板③の穴を合わせ、本体に六角ボルト⑳、平座金㉑でまず仮止めして下さい。そして、架台カンヌキの中央部に十字穴付六角ボルト㉔、平座金㉑、フランジナット㉕で天板と固定した後、全てはずれないように本締めして下さい。
- 又 棚受け金具㉖を、上部側板⑱の任意の場所に差し込んで、メインラック㉗を棚受け金具の上に載せて下さい。

●部品明細

番号	品名	数量	
		L84	H84P
18	天井板	1	1
19	上部側板 (R/L)	2	2
20	架台カンヌキ	1	1
21	上背板	1	2
22	中間柱	1	1
23	メインラック	2	1
24	棚受け	8	8
25	専用天井板	—	(1)
26	専用メインラック	—	(1)
27	センターヒンジ上 (ピンなし)	—	(1)
28	センターヒンジ下 (ピン付)	—	(1)
29	平座金 (M6用)	5	5
30	トラスタッピンネジ (M4×10ℓ)	16	24
31	六角ボルト (M6×50ℓ)	4	4

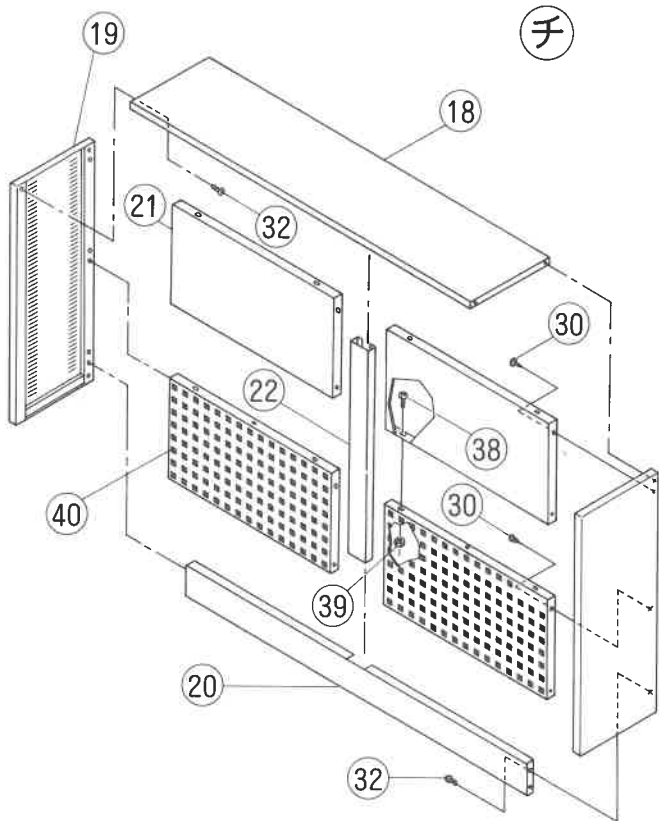
## <Hタイプ> PN-H84Pタイプ

### ●組立て方法

㊦～㊧は、11～12ページと同じ。

㊨ 左右の上部側板⑱と天井板⑲をトラス小ネジ⑳で仮止めして下さい。次に架台カンヌキ㉑に中間柱㉒を差し込み、天井板⑲の切込んだ部分にはめ込み、上部側板のうしろ下部にトラス小ネジ㉒で仮止めして下さい。そしてパンチングパネル⑳を架台カンヌキの上に置き、上部側板、天井板、架台カンヌキ、中間柱にトラスタップネジ㉓で仮止めし、その上に上背板㉑を同じ要領で取り付けて下さい。そして上背板㉑とパンチングパネル⑳の合わせ面の穴にトラス小ネジ㉓、六角ナット㉔で仮止めし、その後、仮止め部分を全てはずれないように本締めして下さい。

㊩㊪は13ページと同じ。



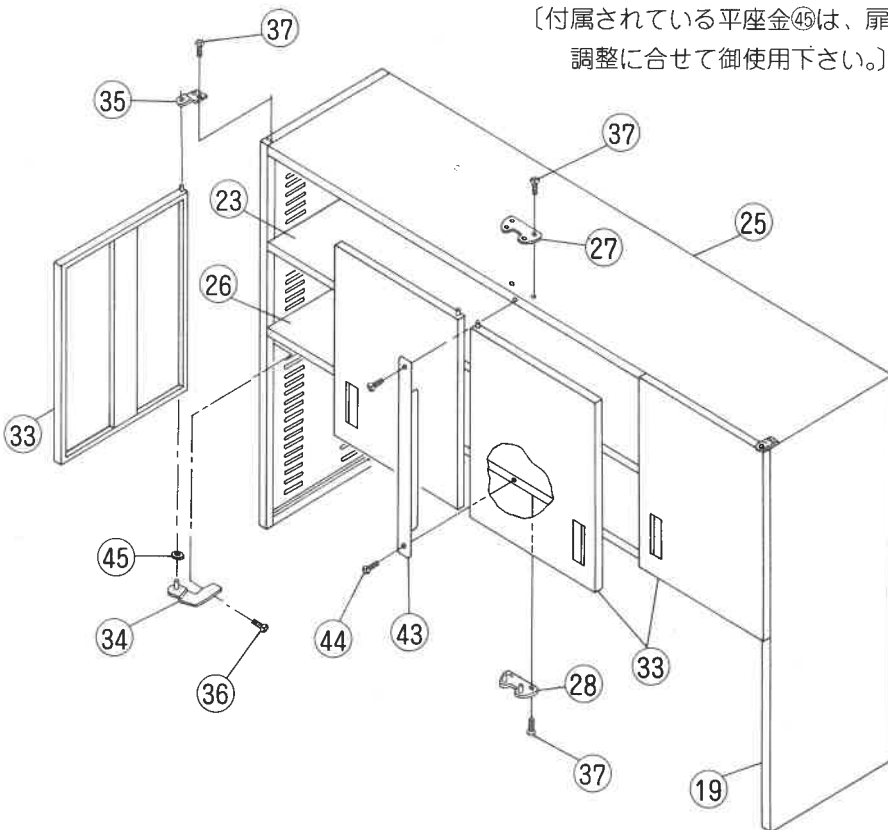
### 《1800用天扉の組立て方》

(注) 天井板及びメインラックは専用品を使います。

本説の(Hタイプ)の組立て方法を参考にしながら、次の手順で組立てて下さい。

1. 上部側板⑱の中央内側の穴にヒンジ板⑳を皿ネジ㉑で、次に上端前側の穴にヒンジ板㉒をナベネジ㉓で、それぞれ両側にはずれないように取り付けて下さい。そしてメインラック㉔、専用メインラック㉕をセットして下さい。
2. センターカバー㉖をナベ小ネジ㉗で、センターヒンジ㉘を上部、㉙を下部にナベ小ネジ㉓でそれぞれにはずれないように取り付けて下さい。
3. 天扉㉚を下ヒンジ(ピン付)㉛㉜に先に合せて差し込み、上部ロックピンでセットして下さい。

[付属されている平座金㉝は、扉調整に合せて御使用下さい。]



番号	品名	数量	
		L84	H84P
32	トラス小ネジ (M6×160)	8	8
33	天扉 (R/L)	—	2組
34	ヒンジ板 (1) (R/L)	—	(2)
35	ヒンジ板 (2) (R/L)	—	(2)
36	皿小ネジ (M4×100)	—	(4)
37	ナベ小ネジ (M5×100)	—	(8)
38	トラス小ネジ (M4×100)	—	4
39	六角ナット (M4用)	—	4
40	パンチングパネル	—	2
41	十字穴付六角ボルト (M6×400)	1	1
42	フランジナット (M6用)	1	1
43	センターカバー	—	(1)
44	ナベ小ネジ (M4×100)	—	(2)
45	平座金 (M4用)	—	(4)

( )内は天扉取付用

**S 竹工**